

広報

やまゆり

第 95 号

2024・3・16

社会福祉法人明峰福祉会
特別養護老人ホーム

やまゆり荘

〒449-0211

東栄町大字中設楽

字松久保1-3

☎0536-79-3534

回覧

ホームページ

<https://www.meiho-f.com/>



新年会

1月14日、やまゆり荘の新年会を開催しました。実に4年ぶりとなる「すみれ棟」と「ひまわり棟」の合同での新年会となりました。

新しい年を迎え、明るく楽しく過ごすことよって、入所者様の「一年をより良い年にしよう」という気持ちを刷新することが出来ます。

私たち職員は、入所者様に楽しんでいただくために、ダンス、ギター演奏、太鼓、ソーラン節の四つの演目を準備しました。約一時間でしたが、一生懸命に披露させていただきました。

「すごいね」「いいものを見せてもらっている」と入所者様同士が話している声も聞こえてきました。皆さん笑顔でも楽しそうに見ただけのこと、本当に嬉しく思いました。

新年会が終わった後も「ありがとう」の声をかけていただきました。

久しぶりに新年会を開催し、皆さんの笑顔が見ることができて、とても幸せな時間を過ごすことができました。

介護士H



理容ボランティア再開

コロナ禍により、長い間行うことができなかったのですが、「ヘアサロンあおば」の赤谷様のご協力により、理容ボランティアを再開することができるようになりました。

理容の間、変化するご自分の姿を見ながら会話もはずみ、昔話はもちろんのこと、ハサミの小気味良い音を聞いて「ハサミの音がいいね」とも切れそうな音がしているね」と言われる方もおられた。綺麗になった、気持ち良くなったと言ってお部屋に戻られました。



この話を聞いて、ご利用者様が多く来てしまい、予定の時間を超えることとなり、赤谷さんの帰りが遅くなってしまいうこともありました。

散髪途中で髪を切りたくない駄々をこねる方や、どうしても動いてしまい、なかなか散髪できない方もいらっしやってスムーズに行うことができないケースがありますが、今後定期的にも実施したいと思います。

赤谷様におかれましては、今後ともよろしくお願いいたします。

事務員I

鬼は外！ 福は内！

2月7日に節分の豆まきを行いました。豆の代わりに丸めた新聞紙を投げて頂きました。鬼を怖がる方、笑いながら投げられる方、本気になって投げられる方、色々いましたが、夢中になっていた様子でした。中には、「笑いすぎて、お腹が痛い。」と、言われる方もいました。

豆は食べられませんでしたが、いつもと違う特別なお菓子を食べて、とても満足そうな表情をされていました。利用者さんには、とても喜んでいただけたと思います。

介護士 I



おひなさま

今年も玄関ホールと各棟におひなさまが飾られました。

玄関ホールに飾られていたのは雛人形の基本ともいわれている七段飾り。最近では住宅事情もあり三段飾りが多いようです。

「家にも大きくて綺麗な雛人形があったよ。年々装飾品とかの部品がなくなってしまうって：」と入所者様。

「そうそう、誰が何を持っていて、どこに誰を配置かわからなくなってる：」と職員。

「結局、飾らなくなっちゃうのよね」と入所者様、職員ともに意見が一致。

とは言いつつも、人形を飾った時の子どもたちの様子や、その時の風景などのお話で徐々に会話が熱を帯びました。

施設内で生活していると時季も分かりにくくなりがちなので、やまゆり荘では、定期的に行事やイベントを行って、入所者様に季節を感じていただいています。

すみれ棟チーフ

まもなく一年

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが令和5年5月に2類相当から5類感染症へと移行しました。まもなく一年を迎えようとしています。

5類に移行されたとはいえ、その脅威が無くなったわけではありません。

施設には重症化リスクの高い方が多く生活しており、施設で感染者が出ると、それが一気に広がってクラスターとなる危険性もあります。残念ながら、やまゆり荘においてもクラスターが発生してしまいました。



施設では、ウイルスを「持ち込まない」「拡げない」「持ち出さない」ことが大切です。引き続き職員は自身の体調管理と必要な感染症対策を行い、介護の業務に当たらせていただきます。

施設を利用する、施設で暮らす高齢者にとって、他の利用者様との交流や家族との面会はかけがえのない時間ですので、今後この大切な時間を守っていきたく思います。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

事務員 N

やまゆり荘では
看護師・介護士を募集しています

お気軽にご連絡ください